

FUJITSU Software

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V12a (V12.2.0)

NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V12a (V12.2.0)

本商品は、COBOL 開発・運用商品として実績の高い NetCOBOL(PowerCOBOL85/97)の Linux(Intel64)版商品で、国際規格(ANSI'85 およびX/OPEN CAE(Common Applications Environment)仕様)に準拠し、オブジェクト指向機能などの国際規格COBOL2014の主要機能、SIA 富士通標準仕様および主要な業界標準仕様といった拡張仕様を取り入れた言語仕様を実現するCOBOLに加え、富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ、開発保守支援ツール(SIMPLIA)、プログラム改修支援機能、帳票/オーバーレイ帳票印刷機能(MeFt)、既存資産を活用したWebアプリケーション構築機能(MeFt/Web)、および高性能ソート・マージ機能(PowerSORT)など、ビジネス系基幹業務を構築するための機能群を含む開発環境および運用環境です。

本商品は、NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ(64bit)に加え、富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ、開発保守支援ツール(SIMPLIA)、プログラム改修支援機能、高性能ソート・マージ機能(PowerSORT)、大規模高信頼性システムとの連携機能を提供します。

NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ(64bit)は、NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ(64bit)に含まれるコンポーネントのうち、アプリケーションを運用するために必要となるCOBOL運用環境、富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ、MeFt、MeFt/Web、PowerSORT、大規模高信頼性システム連携などから構成される商品です。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / マルチベン
ダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid
IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / FUJITSU Cloud Service S5 / パブリッククラウド

- サーバ

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

1. 言語仕様：幅広い言語仕様・プラットフォーム共通の言語仕様

幅広い言語仕様およびプラットフォーム共通の言語仕様をサポートしています。

(1) ANSI '85

すべての必須機能単位最高水準、組み込み関数機能

(2) X/OPEN CAE仕様(XPG4)

行順ファイル、コマンド行引数/環境変数操作、ファイル/レコードの排他制御、連結式など

(3) オブジェクト指向

国際規格COBOL2002で採用されたオブジェクト指向プログラミング機能

(4) 主要な業界標準仕様

VS COBOL(IBM), Micro Focus COBOL

(5) SIA富士通標準仕様

日本語処理機能、表示ファイル機能など

2. 実行環境：次の機能のサポートにより、サーバ業務に適したアプリケーションを作成

(1) マルチスレッドのサポート

マルチスレッドモデルで作成されたアプリケーションの開発・運用をサポートします。マルチスレッド機能により、今後さらに増大するIT(情報技術)分野/ネットワークコンピューティング/分散オブジェクト環境での業務アプリケーションの円滑な運用を実現します。

(2) C言語アプリケーションとの融合

COBOL 言語で記述されたアプリケーションとC言語で記述されたアプリケーションの相互の呼出しが可能です。

(3) Jアダプタクラスジェネレータ

COBOLからJavaのクラスライブラリを利用することができます。

3. データベース連携

プログラム中に埋込みSQL文を書くことにより、データベースへアクセスが可能です。

以下のデータベースは、プリコンパイラを使って利用できます。

・ Enterprise Postgres

・ Symfoware Server (Postgres)

・ Symfoware Server (Nativeインターフェース)

・ Oracle Database [Oracle ProgrammerのPro*COBOLプリコンパイラ]

以下のデータベースは、ODBCインターフェースを使って利用できます。

・ Enterprise Postgres

・ Symfoware Server (Postgres)

動作確認済データベースの詳細については、「関連URL」の「お客様向けURL」に記載されているNetCOBOLのホームページの「機能概要:データベース」を参照してください。

4. 開発支援機能：次の機能のサポートにより、アプリケーション開発における生産性の向上を促進

(1) makefile作成支援

ソースの依存関係を解析し、makefileを自動生成します。

(2) ダンプ機能

実行可能ファイルとオブジェクトファイルからトラブル調査に役立つ情報を出力する機能

(3) ファイルユーティリティ

COBOLファイルの創成、表示、復旧を支援するユーティリティコマンドを提供します。

(4) Windows環境を利用したリモート開発機能

別売のWindows版NetCOBOLに含まれるNetCOBOL Studioを利用した分散開発機能（リモートビルド、リモートデバッグ）により、Windowsを核としたサーバアプリケーションの開発環境の統合を図り、開発～実行テストまでをWindows上で実現できます。

(5) 他社COBOL資産移行支援機能

- ・他社COBOL向けソースプログラムをNetCOBOL用に翻訳前にソース変換する機能
- ・他社COBOLの順・相対・索引ファイルをNetCOBOLのファイル形式に変換する機能

(6) プログラム改修支援機能

- ・同一名のソースプログラムがある場合のソースプログラム特定機能
- ・ビルド時、修正の影響がないプログラムの再翻訳抑止機能

5. 多彩な画面操作・帳票印刷機能による本格的なビジネス業務への適用

本格的なビジネス業務に適用するために以下の機能を提供しています。

(1) きめ細やかな帳票出力実行ライブラリ (MeFt)

- ・面倒なプリンタの制御をMeFtが行います。プログラムは業務固有の処理に専念できます。
- ・フォームオーバーレイパターンを利用することで、きめ細かな表現の帳票を高速に印刷できます。
- ・写真・地図等のイメージデータを含んだ帳票を印刷できます。

(2) 既存資産を活用したWWWサーバアプリケーション構築の支援 (MeFt/Web ActiveX方式)

表示ファイル機能を使った既存のCOBOL資産を活用して、イントラネットシステムを短期間に構築できます。以下の効果と特長があります。

- ・運用管理コストの削減

WWWブラウザさえあれば、クライアント側に必要なソフトウェアはサーバから自動的にダウンロードされます。クライアント側のインストール作業は不要です(*1)。

- ・どこからでも業務アプリケーションの使用が可能

イントラネットに接続されているパソコンなら、どこからでも簡単に利用できます。

- ・WWWブラウザ上でもエントリ業務に対応できる多彩な画面操作機能

WWWブラウザ上でイメージどおりの画面を表示させることができます。また、オペレータからのデータ入出力を細かく制御できます。

- ・WWWブラウザからきめ細かな帳票を印刷

きめ細かなビジネス帳票をWWWブラウザから印刷/プレビューできます。

*1:MeFt/Webプラグインを使用する場合は、クライアント側でPlug-inのインストールが必要

(3) 既存の画面定義体を活用した表示ファイル機能によるWWWサーバアプリケーションの構築の支援 (MeFt/Web HTML変換方式)

表示ファイルをHTMLファイルに変換することで、既存のCOBOL資産を活用して、Web画面インターフェースを短期間に構築できます。

以下の効果と特長があります。

- ・表示ファイル機能で作成したCOBOLアプリをそのままWebから活用できます。
- ・運用管理コストの削減

WWWブラウザさえあれば、クライアント側に必要なソフトウェアはありません。

(4) INTARFRM連携によるWWWサーバアプリケーションの構築の支援

INTARFRMと連携することで、既存資産の画面帳票を含むCOBOL資産をCOBOL-Java(Servlet/JSP)形態に移行できます。

詳しくは、「関連URL」に記載されているINTARFRMの詳細情報を参照してください。

6. 開発保守支援ツール(SIMPLIA)

(1) テストデータ作成・更新・検証ツール(TF-LINDA)

COBOLファイルの作成/検証(創成、更新、追加、表示、印刷)ができます。

テストデータの作成/検証作業を軽減します。

(2) 開発資産流用支援ツール(TF-MDPORT)

異なるプラットフォーム間における文字コード変換/ファイル形式変換機能により、既存データを流用したテストデータの作成作業を軽減します。

7. 富士通メインフレーム浮動小数点演算エミュレータ

富士通メインフレームの内部浮動小数点形式の演算を可能にするエミュレータを提供しています。

8. ビジネス業務向け高性能ソート・マージ (PowerSORT)

(1) 高度なソート技法の採用により、ビジネス分野で必要な大容量データを短時間で処理できます。

(2) 用途に応じた利用形態を選択できます(コマンドによる簡単操作/NetCOBOLのSORT文、MERGE文におけるソート・マージ処理の実現/BSORT関数によるC言語アプリケーションへの自在な組み込み)。

(3) 主要機能であるソート/マージ/コピーに組み合わせて、選択/集約/再編成等の各種レコード操作を利用できます。

(4) 1回の実行で条件別に複数の出力ファイルを作成できます。

9. 大規模高信頼性システム連携

大規模高信頼性システムを構築するため、以下の製品との連携機能を提供しています。

(1) Interstage Business Application Server V9.2.0以降

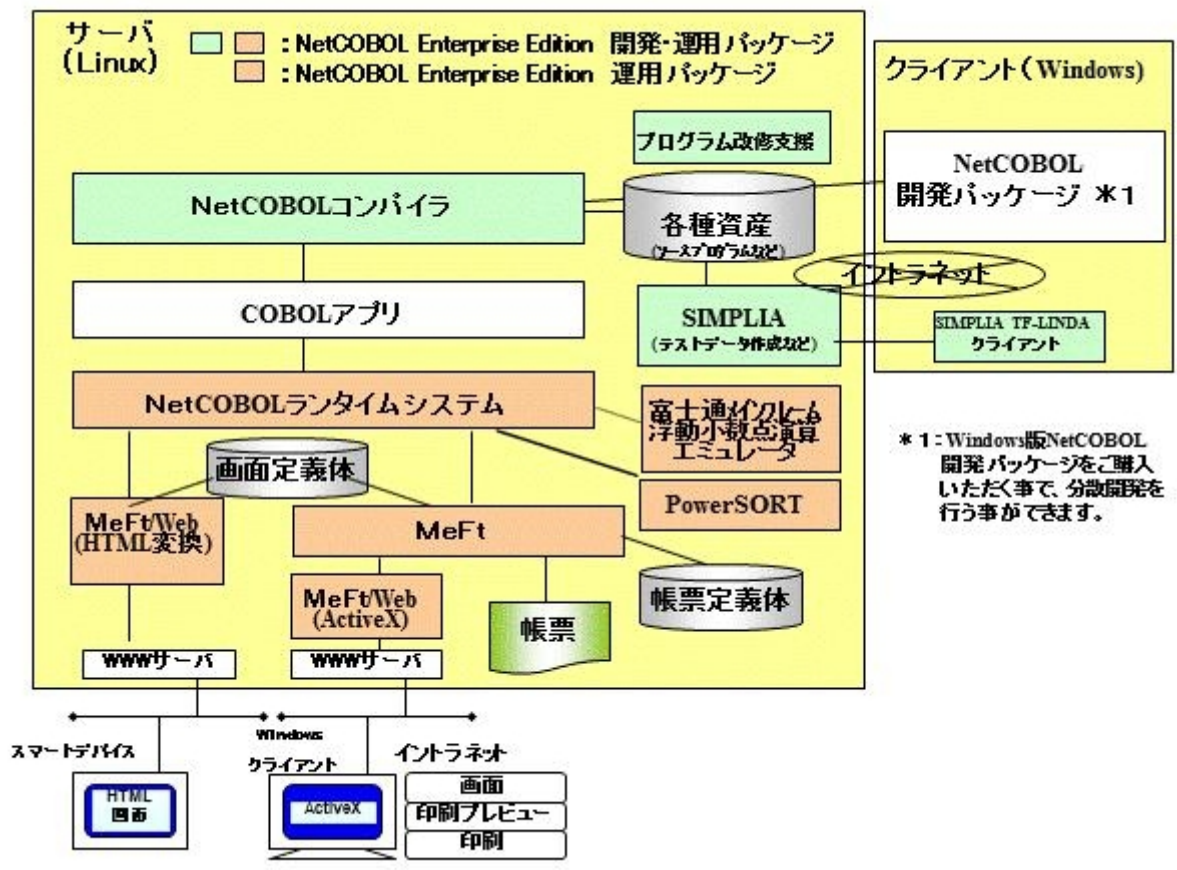
ミッションクリティカルな業務システムを構築するための基盤製品です。業務システムの安定性、安全性、柔軟性を実現します。アプリケーションの処理状況を記録する堅牢性の高いログ機能や、ミッションクリティカルなアプリケーションの開発を効率化する機能を提供しており、Java/C/COBOLによる業務システムのシステム構築が可能です。

(2) Interstage Job Workload Server V9.3.0以降

メインフレームで培った基幹システム構築のノウハウを活かし、オープンシステム上で基幹バッチ処理の安定稼働と運用性向上を実現する基盤ソフトウェアです。ジョブの実行に必要なファイル資源を事前に排他獲得するなど、安定したジョブ実行環境を構築することができます。ジョブ異常時における自動ファイル回収処理、異常ジョブステップからのリスタートなど、ジョブ運用の利便性を大幅に向上します。

(3) Interstage Big Data Parallel Processing Server V1.0.1以降

大規模データを効率的に分散・並列処理するオープンソースソフトウェア「Apache Hadoop」をベースに当社の独自技術を統合することにより、信頼性、処理性能の向上、ならびに導入時間の短縮を実現し、企業システムでのビッグデータ活用を支援します。さらに、企業の基幹システムで実績のある当社独自の分散ファイルシステムを組み合わせることで、データの信頼性を向上させ、Hadoopの処理サーバへのデータ転送を不要にして、処理性能を大幅に向上させています。



新規機能

V12.2.0からV12a (V12.2.0)の機能強化は以下のとおりです。
内部コンポーネントを入れ替えました。

・ オンラインマニュアル

- ・ソフトウェア説明書 NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V12a 開発・運用パッケージのみ
- ・ソフトウェア説明書 NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V12a 運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2.0 リリース情報
- ・NetCOBOL V12.2 マニュアル体系と読み方
- ・NetCOBOL V12.2 入門ガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 ユーザーズガイド
- ・NetCOBOL V12.2 ユーザーズガイド (他社COBOL資産移行支援編) 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 CBL サブルーチンユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 LE サブルーチンユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 COBOL文法書 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 メッセージ集
- ・NetCOBOL V12.2 Jアダプタクラスジェネレータ ユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 Migration CJC for INTARFRM 連携機能運用ガイド
- ・MeFt V12.2 ユーザーズガイド
- ・MeFt/Web V12.0 ユーザーズガイド
- ・MeFt/Web V12.2 ユーザーズガイド (HTML変換方式編)
- ・SIMPLIA/TF-MDPORT ユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V12.2 ユーザーズガイド (Hadoop連携機能編)
- ・PowerSORT (64bit) V8.1 ユーザーズガイド

【メディア】

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ メディアパック (64bit) V12a (V12.2.0)
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ メディアパック (64bit) V12a (V12.2.0)

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S) 7年

【永続ライセンス】

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) (1年間24時間サポート付) V12a
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) (1年間24時間サポート付) V12a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途 ライセンスを購入する必要があります。

また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンス体系について」を参照ください。

3. NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)について

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)は、開発および開発と運用を同一マシン上で実行する際に必要となる商品です。

4. NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit)について

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit)で作成したアプリケーションを他のサーバ上で実行する際に必要となる運用環境商品です。

5. 32ビット環境で利用する場合について

本商品は、64ビット環境で利用するための商品です。32ビット環境で利用する場合は、以下の32ビット版の商品を購入してください。

- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ メディアパック V7.3
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V7.3
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ メディアパック V7.3
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V7.3

32ビット版と64ビット版は、同じコンピュータにインストールして利用する事ができます。その場合は、両方のメディアパックとライセンスをそれぞれ必要数分購入してください。

6. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。

(お客様からのご要求が必要です。)

7. ダウングレード使用について

本商品のライセンスを購入することにより、本商品の旧バージョンを使用する権利を得ることができます(以降、「ダウングレード使用」と呼びます)。

「ダウングレード使用」を適用する際には、旧バージョン商品のインストール媒体をお客様が既に購入されていることが前提となります。

購入が必要なライセンス数については、本商品のライセンス購入方法に従ってカウントします。

なお、ダウングレード使用権を用いて、1つのライセンスで本バージョン商品と旧バージョン商品を同時に使用することはできません。

また、本商品の次バージョン以降を使用する権利はありません。

「ダウングレード使用」可能な旧バージョン商品は、以下のとおりです。

- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V11a
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V11a

なお、運用パッケージを開発・運用パッケージとしてダウングレード使用することはできません。

8. バージョンアップ/レベルアップについて

本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

「SupportDesk」によるバージョンアップ/レベルアップ対象の元商品は、以下のとおりです。

- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V12
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V11a
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V11
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V10
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V12
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V11a
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V11
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ (64bit) V10
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V7.3
- ・NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V7.3

なお、開発・運用パッケージと運用パッケージを切り替えるバージョンアップ/レベルアップはできません。

9. クラスタシステムにおける運用環境商品のライセンスについて

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。

ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合は、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入したライセンスを使用できます。

10. SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントのライセンスについて

本商品には、SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントが含まれています。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントは、1台のWindowsクライアントにインストールして使用することができます。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントを複数のWindowsクライアントにインストールして使用する場合、SIMPLIAの追加クライアントライセンスを別途購入する必要があります。

11. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) ダウングレードについて

本ソフトウェアガイドにダウングレード使用についての記載がある場合、サブスクリプションライセンス/サポート製品には適用されないものとします。

(3) クライアント用ソフトウェア

本製品に含まれるSIMPLIA/TF-LINDAをお使いになる場合、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(2)号にかかわらず、本製品により、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号において対象プログラムをインストールしたコンピュータに、1クライアントまで同時に接続することができるものとします。

(4) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. NetCOBOL Studioを利用したリモート開発機能を利用する場合

Windows 版の以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ V10.1.0以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ V10.1.0以降
 - ・ NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ V10.1.0以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ V10.1.0以降
 - ・ NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (64bit) V10.3.0以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit) V10.3.0以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit) V10.2.0以降
- 新規エンハンス内容を利用される場合は、最新版をご利用ください。

2. 画面・帳票定義体を作成する場合

Windows 版の以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ FORM , FORMオーバーレイオプション V7.0以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ V7.0以降
 - ・ NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ V7.0以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ V9.0以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit) V10.3.0以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit) V10.2.0以降
- 新規エンハンス内容を利用される場合は、最新版をご利用ください。

3. COBOLアプリケーションをUNICODEで運用しMeFtで印刷する場合またはVSPプリンタ(FNP対応機種)に出力する場合

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9.2.1以降

4. VSPプリンタ(FNP対応機種)に出力する場合

- ・ PrintWalker/LXE V15L40以降
- ・ PrintWalker/LXE-EX V15L40以降

1. サーバにおける関連ハードウェア

VSPプリンタ（FNP対応機種）

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境では、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

2. 32ビットアプリケーションの開発と運用について

32ビットアプリケーションを開発および運用する場合は、32ビット版NetCOBOL商品を別途、購入してください。

3. ロケールについて

動作保証しているロケールと表示言語の組み合わせは、以下です

- ja_JP.UTF-8 日本語
- en_US.UTF-8 英語
- zh_CN.UTF-8 英語
- pt_BR.UTF-8 英語

ただし、以下の機能については、ja_JP.UTF-8 日本語のみのサポートです。

- MeFt/Web
- INTARFRM連携
- SIMPLIA/TF-LINDA
- SIMPLIA/TF-MDPORT

4. 32ビットLinux版およびSolaris版との機能差

本商品は、32ビットLinux版およびSolaris版 NetCOBOL Enterprise Editionと比較して、以下の機能をサポートしていません。

- ・プロジェクトマネージャなどの開発支援ツール、デバッガ、およびファイルユーティリティのGUI版（Windows版NetCOBOLによる分散開発で代替）
- ・COBOL デバッガ（gdbによるデバッグ又はWindows版NetCOBOL Studioからのリモートデバッグで代替）
- ・スクリーン操作機能
- ・報告書機能（REPORT SECTION）
- ・簡易アプリ間通信機能
- ・Web連携機能
- ・MeFt画面機能
- ・クラスライブラリ（帳票、DB、コレクション）

5. 印刷について

VSPプリンタ（FNP対応機種）のみ印刷可能です。

6. MeFt/Web ActiveX方式 クライアントの動作環境について

MeFt/Web ActiveX方式 クライアントのサポートOSは以下です。

- ・Windows 7 SP1以降（32/64bit版）
- ・Windows 8.1(32/64bit版)
- ・Windows 10(32/64bit版)

MeFt/Web ActiveX方式アプリの利用時には以下のブラウザが必要です。

・ Internet Explorer 11 (32bit版)

注) デスクトップ環境で使用する必要があります。

7. MeFt/Web HTML変換方式アプリ利用時のスマートデバイス対応について

MeFt/Web HTML変換方式では、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。

サポートブラウザ等の詳細情報は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software(スマートデバイスにおける動作条件)」を参照してください。

8. 他社COBOL資産移行支援機能について

NetCOBOLでは、他社COBOLの文法に従って記述されたソースプログラムを、NetCOBOLが翻訳可能なソースプログラムに変換する機能を提供しています。COBOLプログラムは、データベース、帳票システム、トランザクションシステムなどと連携した作りになっているケースが多く、NetCOBOL製品に組み込んでいる変換機能だけでは変換できません。

他社COBOLからNetCOBOLへ移行する場合は、NetCOBOLホームページに記載のNetCOBOL資産移行・技術支援サービスを参照の上ご検討ください。NetCOBOLホームページは「関連URL」を参照してください。

9. SIMPLIA/TF-LINDAクライアントの動作環境について

TF-LINDAクライアントのサポートOSは以下です。

- ・ Windows 7(32/64bit版)
- ・ Windows 8.1(32/64bit版)
- ・ Windows 10(32/64bit版)
- ・ Windows Server 2008 R2 SP1 以降 (64bit版)
- ・ Windows Server 2012 (64bit版)
- ・ Windows Server 2012 R2 (64bit版)
- ・ Windows Server 2016 (64bit版)
- ・ Windows Server 2019 (64bit版)

10. PowerSORT機能について

PowerSORT (64bit) V8a (V8.1.0) のソフトウェアガイドの留意事項をご確認ください。

11. 連携商品について

連携商品については、各商品のLinux(Intel64)対応状況およびCOBOLとの連携状況をご確認ください。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（NetCOBOL）**

本商品の詳細は、以下のNetCOBOLのホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/cobol/>

- **ソフトウェア：富士通（INTARFRM）**

INTARFRMの詳細は、以下のINTARFRMのホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/infrastructure/dynamic-infrastructure/afw/>

- **ソフトウェア：富士通（SIMPLIA）**

SIMPLIAの詳細は、以下のSIMPLIAのホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/infrastructure/dynamic-infrastructure/sdas/products/simplia/>

- **ソフトウェア：富士通（PowerSORT）**

PowerSORTの詳細は、以下のPowerSORTのホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/powersort/>

- **ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）**

スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>

- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>